

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2024.07.No323

7月号

目次

(一社)北海道建築士会 第46回全道大会(日高大会)	1
Coffee Break	7
information	8

URL <https://www.h-ab.com/>

(一社)北海道建築士会 第46回全道大会(日高大会)

■大会テーマ バサンチ 馬産地 ヒダカジ 日高路 カタ で語る ワレワレ 我々の ミライ 未来



(一社)北海道建築士会第46回全道大会実行委員長
日高支部 支部長 山下 聡

この度、令和6年一般社団法人北海道建築士会第46回全道大会を日高支部で開催させていただき運びとなり、心よりお礼のご挨拶を申し上げます。日高地域での開催は支部設立以来、初めてのことであり、伝統ある大会を開催させていただけることに身が引き締まる思いであります。日高支部は、「平取町」「日高町」「新冠町」「新ひだか町」「浦河町」「様似町」「えりも町」の7町で活躍する会員82名の支部となります。今大会は新しい試みとして、例年とは志向を変えて一日開催とし、分科会を行わず「ワールドカフェ」スタイルで行いたいと考えております。会員の皆様には、多少の戸惑いもあるかと思いますが、建築士会の持続可能な未来を模索する意味でご賛同いただければ幸いです。

日高は馬産地として特色ある発展をしてきた地域です。この地での大会は、建築士の皆様にとって新たな視点とインスピレーションをもたらすことでしょう。大会テーマは「馬産地 日高路で語る我々の未来」私たちは、日高の魅力を最大限に活かし、有意義な交流と学びの場を提供したいと考えています。

建築士会の使命は、建築士としての役割や責任を深く認識し、地域の持つ可能性や課題を探求し、未来を創造するため、その知識や技術、情熱や想像力を発揮し社会に貢献することだと考えます。日高大会を通じて、私たちはこの使命を共有し、さらなる成長と発展を目指します。最後に、日高大会の成功に向けて、皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。共に素晴らしい大会を作り上げましょう。

[大会プログラム]

月日	時間	開催内容	会場
9月28日(土)	11:30~14:30	大会参加者受付	新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
	10:30~14:00	昼食	P3新ひだか町静内の指定店ご参考ください
	12:30~14:30	ひだカフェ (ワールドカフェ) 元気発信ブース/ミニ机上訓練	新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
	15:00~16:00	大会式典	新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
	16:30~17:30	基調講演	新ひだか町静内公民館コミュニティセンター
	18:00~20:00	懇親会	静内エクリプスホテル

第46回全道大会（日高大会）会場のご案内

[大会会場ご案内]



「新ひだか町公民館・コミュニティセンター」から「静内エクリプスホテル」までは徒歩5分

<p>■大会受付・大会式典・ひだカフェ・基調講演</p> <p>新ひだか町公民館・コミュニティセンター 日高郡新ひだか町静内古川町1丁目1番2号 0146-42-0075 駐車場約100台（無料）</p>	<p>■懇親会</p> <p>静内エクリプスホテル 日高郡新ひだか町静内吉野町3丁目1番1号 0146-43-3811 駐車場約100台（宿泊用）</p>
<p>■ミニ机上訓練</p> <p>新ひだか町公民館・コミュニティセンター 日高郡新ひだか町静内古川町1丁目1番2号 0146-42-0075</p>	<p>■各種ブース</p> <p>新ひだか町公民館・コミュニティセンター 日高郡新ひだか町静内古川町1丁目1番2号 0146-42-0075</p>

■北海道建築士会日高支部YouTubeチャンネル
 随時、大会情報、飲食店情報など発信中
 ぜひ、登録をお願いします。



[宿泊施設のご案内]



※各自で直接宿泊施設にお問合せ・お申込み願います。

[2022年4月現在]

番号	施設名	TEL 市外局番 (0146)	収容人員	番号	施設名	TEL 市外局番 (0146)	収容人員
①	静内エクリプスホテル	43-3811	125名	⑥	ホテルローレル	42-7211	103名
②	ホテル サトウ	42-0425	70名	⑦	みやざき旅館	43-3678	30名
③	ホテル アネックス イン	45-2000	50名	⑧	晃月旅館	42-1647	22名
④	ビジネスホテル サンスポット	42-8484	96名	⑨	新冠温泉ホテルヒルズ	47-2100	-
⑤	おやど サンスポット	42-8484	27名				

※宿泊料金等については、宿泊施設へ直接ご確認願います。

宿泊施設へ予約の際は「北海道建築士会」であることをお伝えください。

[会場近隣の飲食店のご紹介]

※下記飲食店のほか、YouTubeチャンネルでも紹介をしています。

番号	飲食店名	TEL 市外局番 (0146)	住所	番号	飲食店名	TEL 市外局番 (0146)	住所
①	美味の館 天政	42-1020	静内御幸町1-1-16	⑥	大安食堂	42-1935	静内本町3-3-1
②	お料理 あま屋	42-7545	静内御幸町2-5-51	⑦	中華料理 大龍	42-0961	静内吉野町1-2-20
③	レストラン「北海」	42-7211	静内本町1-1-1	⑧	蕎麦工房 春風	42-5055	静内本町2-2-8
④	SOUP CURRY&BAR SPICE TIGER	49-0041	静内吉野町1-2-4	⑨	スカイレストラン「SAKURA」	43-3811	静内吉野町3-1-1
⑤	ピヤレストラン 赤ひげ	43-3773	静内吉野町2-2-39				

ワールド・カフェ「ひだカフェ」～分科会から、全体参加型へ

ゆる〜く対話のできる『ひだカフェ』をオープン

例年の全道大会では、まちづくり委員会、青年委員会および女性委員会が主管し、開催地に因んだ特色のある話題をテーマに3つの分科会が開催され、参加者の研鑽の場となっておりますが、今大会では、分科会にお休みいただき、ゆる〜く対話のできる『ひだカフェ』をオープンすることになりました。ただし、メニュー表から、お好みのものを注文する、いわゆる「カフェ」ではありません。

『ひだカフェ』は、カフェのようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれたテーブルで自由な対話を行い、他のテーブルとメンバーをシャッフルして、対話を続けることにより、参加した全員の意見や知識を集めることができる対話手法「ワールド・カフェ」を取り入れたイベントです。

そして、ゆる〜い対話とはいいつつも、全道各地から、会員が一堂に会する貴重な時間を実りのあるものにするため、当会が抱える課題を基に、テーブルごとに設定した「問い」について、お茶菓子をつまみながら、様々な意見を出し合いたいと考えています。

用意している「問い」は4つ

参加者数にもよりますが、今のところ、用意している「問い」は、①どうする？全道大会、②どうする？支部活動、③どうする？会員増、④どうする？労働力不足の4つです。

なお、当カフェは、円滑な事業運営を確保するため、事前にご予約いただいたお客様の配席については、当方で決めさせていただきますが、急遽の当日参加についても対応いたします。

結びになりますが、当カフェは持込自由となっております。参加者のみなさまにおかれましては、地元の銘菓を多数ご持参の上、お越しいただきますと、対話もより弾むものと思われまますので、ご配慮いただければ幸いです。ただし、会場は、公共施設内となっておりますので、アルコール類の持ち込みはご遠慮ください。多数のご参加を心よりお待ちしております。

元気発信ブース・応急危険度判定机上訓練

【元気発信ブース】

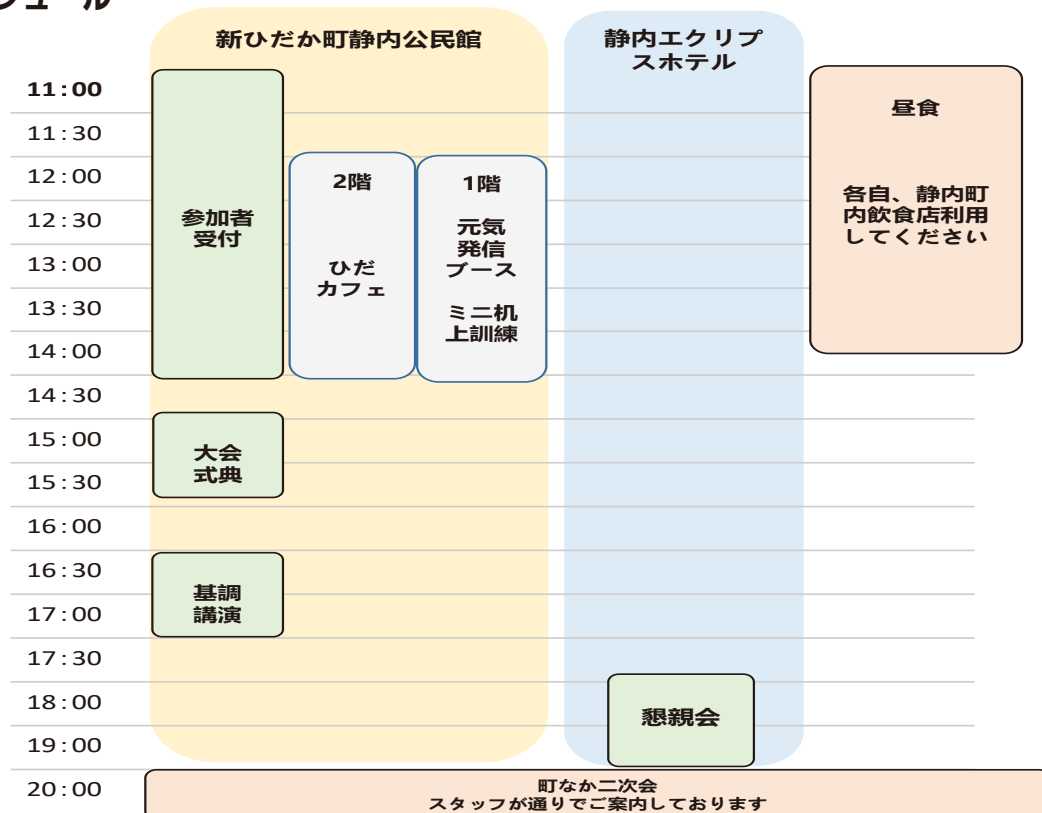
各支部・地域で活動中の宣伝ブースを設置。当日の飛び込みも可能です。

【応急危険度判定・ミニ机上訓練】

随時受付します。ミニ机上訓練を実施（所要時間30分程度）

各行事の空き時間など利用して「いざというとき」のために体験してみませんか

主なスケジュール



基調講演 テーマ：HOKKAIDO PRIDE ～ そうだ、北海道がある！

北海道プライドとは、北海道を愛し、北海道に誇りを持ち、未来に貢献する北海道を創ろうという思いのことです。人口減少や人口流出が続きますが、北海道に憧れ、訪れる人の数は減りません。北海道だからこそできることがあります。北海道が日本はもとよりアジアの若者にとって「夢を実現する場所」になることで、日本全体に活力をもたらします。北海道を切り拓いた先人たちが、子々孫々にどんな夢を託したのかを想像します。世界の中で北海道が果たせる役割があることを、夢としてではなく、希望として共有したいと考えます。建築家の使命を盛り込みたいと考えています。



講師：木本 晃

学校法人北海道科学大学 特命教授・札幌大学客員教授

1959年（昭和34年）1月16日生まれ 帯広市出身

1982年（昭和57年）3月 北海道大学工学部建築工学科卒

1983年（昭和58年）4月 北海道庁勤務（～2018年3月）

昭和34年に帯広市で生まれ、北大建築工学科を卒業後、昭和58年北海道庁に入庁、主として建築行政に携わってきました。

その後、北海道新幹線札幌延伸の前倒し、航空路線誘致、空港民営化などの仕事に関わり、最後は観光振興監として急増する外国人観光客の受入体制の整備などに取り組みました。

道庁在職時代の2010年から「まちが素敵になるしかけ研究会」といった勉強会の開催など、ネットワークづくりを続けてきました。現在はメルマガ「まちが素敵になるしかけ」（しかけ通信）を毎日曜日に配信し、配信先は約2500名となっています。また、全道各地で、観光を活かした地域づくり、北海道の魅力ある未来創りに向けた戦略・提案について講演を行っています。

大会開催にあたっての注意事項

【新型コロナウイルス感染症対策について】

- ・マスク着用については「個人の判断」といたします。

【昼食について】

- ・参加者の皆様には、町内での飲食店のご利用をお願いいたします。
（日高支部Facebook・YouTubeチャンネルにて情報提供しています）

【大会受付～駐車場～懇親会】

- ・受付会場（新ひだか町静内公民館）からは、すべて徒歩圏内です。
- ・新ひだか町静内公民館前の公設駐車場をご利用ください。

【宿泊について】

- ・各自でご予約ください。

【動画配信について】

- ・大会全般を、動画配信いたします。（個別の許可及び確認は致しません）
※映り込みNGの方は、覆面等着用願います。

第46回 (一社)北海道建築士会 全道大会 (日高大会) 参加申込書

	所属支部名	支部
ふりがな	ふりがな	
氏 名	同 伴 者	
住 所	〒 - TEL () - 携帯 () - EMAILアドレス	
勤 務 先	〒 - TEL () -	

月 日	行 事 項 目	参加行事等に○印記入		参加料・代金 /人	金 額	備 考
		本 人	同 伴 者			
9月28日(土)	大会参加費	○		4,000円	4,000円	
	ひだカフェ (ワールドカフェ)			-	-	
	基調講演			-	-	
	大会式典			-	-	
	懇親会			6,000円		
				合計金額		

上記のとおり、関係費 円 を添えて申し込みます。

令和 6 年 月 日

■ 各支部への申込締切りは **8月16日(金)** を厳守願います。

[備考]

◎大会参加費は、会員外の同伴者は免除いたします。

◎関係費は、前納制とさせていただきますので、所要事項を記入し、費用を添えて各所属支部へ申し込んでください。

◎申し込みの取り消し及び変更は、8月23日(金)までとし、8月24日(土)以降の取り消しは返金できません。

◎申込用紙は1名につき1枚、同伴者は連名にて料金を加算してください。(申込用紙はコピー可)

◎申込用紙は、北海道建築士会ホームページ (<https://h-ab.com/>) でダウンロードできます。

苦小牧支部 半世紀人生を共にした苦小牧

理事
辻 直人



突然ですが、みなさんは苦小牧と聞くと何を思い浮かべますか？ウトナイ湖、樽前山、ホッキ貝、王子製紙、アイスホッケー、夏の甲子園連覇の駒大苦小牧高校、日本一食べづらい三星の菓子「よいとまけ」…。雄大な自然に囲まれ、全国初となるスポーツ都市宣言を行った道内人口第4位の紙のまちは今、大きな変革期を迎えています。

同市の経済を長くけん引してきたのは漁業を中心とした一次産業と製紙業。1973年に出光興産、2002年にトヨタ自動車それぞれ市内に生産拠点を置いたことで一気に経済は活性化。世界初の内陸掘込湾「苦小牧港西港」をはじめ、隣町千歳市にまたがる「新千歳空港」も近く、空海のダブルポートも発展を大きく後押し。港湾取扱貨物量は日本屈指、工業統計調査では道内の製造品出荷額最多を堅持しています。

そこに飛び込んできたビッグ

ニュースが、23年2月の次世代半導体製造「ラピダス」の千歳市進出、同年10月のソフトバンク「データセンター」苦小牧進出でした。特に先行するラピダスは同年9月の着工から巨大クレーンが何十機も鎮座し、みるみる鉄骨が組み上がっていく姿は、圧巻の一言です。苦小牧地方でも関連する工事があり、各種業者の皆さんが国家プロジェクト成功を後押ししようと粉骨砕身しているところです。苦東工業団地の臨空柏原地区で展開されるデータセンターにおいても、24年度内の着工、26年度中の稼働に向け今後動きが加速していくことと思います。

苦小牧地方を取り巻く大きな動きはこれだけではありません。日本をはじめ世界各国が対応を急ぐ「カーボンニュートラル（CN）」の先進地域に位置付けられています。2012年から国内初となる二酸化炭素（CO₂）の分離・回収・貯留を行う「CCS」大規模実証実験を開始。苦小牧沖に30万トンのCO₂圧入に成功し、現在も鋭意モニタリング中です。その成果が買われた形で出光興産、北海道電力、石

油資源開発の3社による取り組みが「先進的CCS事業」の一候補として国から選定されました。さらに道外企業が中心となって苦小牧市、トヨタ自動車北海道、北海道曹達など官民連携による再生可能エネルギー由来の製造水素サプライチェーン構築の実証事業、出光興産・ENEOS・北電3社によるCO₂を排出せずに製造する「グリーン水素」の供給網構築も30年までに完成する見込みです。

また、昨年11月に苦小牧市が推し進めてきた30年までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指すモデル地域「脱炭素先行地域」にも国から選定され、勇払地区を中心に取り組みが本格化しようとしています。

自然と調和する産業都市から、豊かな自然を守る術を構築する新たな役割を担い、日々変貌を遂げようとしている苦小牧地方。その基盤、土台を支える業界の一つは間違いなく私たちが活躍する建設業だと思います。

建築士会を通じて建築・ものづくりの魅力を沢山のみなさんへ伝えてゆきたいです。

中標津支部 地域の建築士が果たす役割と未来への展望

理事
竹山 良



建築士会の皆様、日頃から地域社会の発展に貢献していただき、誠にありがとうございます。私たちの仕事は、単に建物を設計するだけでなく、地域の特色を生かしながら、住みやすい街づくりを実現することにあります。今回は、地域の建築士が果たす役割とその未来について考えてみたいと思います。

まず、地域の建築士はその地域に根ざした知識と経験を持っています。地域の気候風土や歴史、文化を理解し、それを踏まえた設計を行うことで、その土地ならではの魅力を引き出すことができます。たとえば、地元の伝統工法や素材を活用した住宅設計は、地域のアイデンティティを守りつつ、持続可能な建築を実現します。

さらに、地域の建築士はコミュニティの一員として、住民との対

話を重視しています。地域のニーズや課題を把握し、住民の声を反映した設計を行うことで、住みやすく、安心して暮らせる街づくりが可能となります。住民参加型のワークショップや意見交換会を通じて、共に考え、共に作り上げるプロセスは、地域の絆を深める大切な機会です。

また、近年注目されているのが、災害に強い地域づくりです。地震や台風などの自然災害に備えた耐震設計や、防災設備の充実は、地域の安全を守るために欠かせません。地域の建築士は、最新の技術と知識を駆使し、安心して暮らせる環境を提供する責任を担っています。

さらに、地域の活性化に向けた取り組みも重要です。廃校や空き家の再利用、地域資源を活かした観光施設の設計など、地域の魅力を引き出すプロジェクトは、経済効果も期待できます。建築士の創造力と技術力が、新たな地域の魅

力を生み出し、観光客や新しい住民を引き寄せるきっかけとなります。

私たち建築士は、地域の未来を創る重要な役割を担っています。地域に根ざし、住民と共に歩みながら、持続可能で魅力ある街づくりに貢献することが求められています。これからも一人ひとりが地域の声に耳を傾け、地域のために尽力することで、より良い未来を築いていきましょう…

と、AIが私に代わり建築士会の未来を示してくれました。さて次は建物の設計をしてもらおう。



第17回中標津地方技能士会主催「技能祭」参加（木工作）

道士会の動き

本部の主な会議報告（6月）

- ◆第1回代議員選挙管理委員会
（開催日）5日（水）
 - 1）一般社団法人北海道建築士会代議員選挙
 - 2）代議員選挙管理委員長の互選
 - 3）代議員選挙の日程
- ◆第3回BIM推進特別委員会（web）
（開催日）5日（水）
 - 1）doBIM season8-2 運営担当
 - 2）各事業の進捗
 - 3）委員会内勉強会「IFCについて②、bSI summit 情報共有」
- ◆支部長・支部事務局長会議
（開催日）21日（金）
 - 1）（公社）日本建築士会連合会会長表彰推薦者
 - 2）（一社）北海道建築士会会長表彰推薦者
 - 3）（一社）北海道建築士会第46回全道大会（日高大会）
 - 4）令和6・7年代議員選挙
 - 5）会費未納者の対応及び資格喪失会員
- ◆第2回女性委員会（web）
（開催日）25日（火）
 - 1）集い、日時、開催場所
 - 2）連合会
 - 3）私の仕事紹介

本部の主な行事予定（7月）

- 7日（日） 二級建築士学科試験
- 11日（木） 第2回代議員選挙管理委員会
- 28日（日） 一級・木造建築士学科試験

関係機関等会議参加予定（7月）

- 3日（水） 東北ブロック会総会・会長会議
上記 本間会長

“会員専用ページ”でオンデマンド配信中！



- 視聴方法：北海道建築士会HPの上記「会員専用ページ」をクリックしパスワードを入力
- 7月パスワード：Shi045

講習会・セミナーのご案内（7月）

木造建築物構造設計セミナー

4日（木） 札幌市

BIMセミナー

16日（火） 札幌市

監理技術者講習

17日（水） 札幌市

CPD認定プログラム（6月認定）

◆わたしたちのできる防災（オンライン勉強会）

- 《日程及び会場》 8月20日（火） 19：00～20：30
- 《単位数》 2単位
- 《問合せ先》 （一社）北海道建築士会札幌支部
TEL 011-232-1843

建築士賠償責任補償制度（けんばい）について

「けんばい」は、建築士会会員向けの補償制度です。詳細まで理解いただけるよう説明動画をご覧いただけるようになりました。

※本会ホームページのバナー「けんばい」よりご覧いただけます。詳細等につきましては、下記の連絡先又はホームページ

（<https://kenchikushikai.aic-agt.co.jp>）にてご確認・お問合せください。

（公社）日本建築士会連合会建築賠償責任補償制度（けんばい）係

株式会社エイアイシー

TEL：03-6272-6206

FAX：03-6272-6209



編集後記

本年度より情報委員会に配属されました。皆様宜しくお願ひ致します。

皆様方のお住いの自治会活動はどうでしょうか？私の町はかなりの高齢化で、この間班長さんから、『うちの班、じじ・ばばしかいないから班の区域割を変えて、若いのを班に入れて頂戴！』とのお話がありました。確かにその班はほぼ80歳以上で、その人も一番若く70代後半。4年連続班長さんをやっている方でした。役員会で区域割のお話をさせていただき、来年度くらいから変更になりそうです。今の若い人ってやはり自治会活動ってあまり参加してないですよね？案外参加すると楽しいって思えるのは私だけでしょうか？

できる人ができる事を。できない人は文句を言わない。自治会活動も建築士会活動も。これからも、いろいろなことに積極的に参加していこうと思ひました。

情報委員会 津山 浩（日高支部）

- 情報委員会委員長／前田 繁
- 副委員長／村山 賢司・立花智聖喜
- 委員／岩浪 治郎・角張 隆昌
- 津山 浩・奈良岡 修

北海道建築士 No.323号

印刷 令和6年6月／発行 令和6年7月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
大五ビル
電話 (011) 251-6076番
URL <https://www.h-ab.com/>

印刷 株式会社 正文舎
〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
電話 (011) 811-7151番